

第 19 回大和高田市立病院 ICLS コース報告

- 日 時 : 平成 29 年 2 月 25 日 (土)
- 対 象 者 : 全職種
- 参加者数 : 受講者 : 11 名 (看護師 9 名 [内院内 7 名] 救急隊 2 人) インストラクター 15 名
- ね ら い : 突然の心停止に対する**最初の 10 分間の対応と適切なチーム蘇生**を習得する
- 目 標 :
1. 有効な胸骨圧迫ができる
2. 安全・迅速・確実な除細動を行うことができる
3. 適切な酸素化をはかる方法を知ることができる
4. チーム蘇生の大切さを知る

〈内容〉

当院開催の日本救急医学会認定 ICLS コースも今回で 19 回目を迎えました。

前日の会場準備後、遅い時間まで自己学習を行うスタッフの姿には心打たれました。その甲斐もあり、ベテランインストが若手のインストをリードし、若手はそれに応え学習した内容をそれぞれしっかりと発揮し素晴らしいプレゼンテーションが展開されました。

受講生は、緊張した面持ちで自己紹介する際の声が聞き取りにくい状況から、時間の経過とともにチーム内で声掛けができるようになり自身に満ちた表情に変化していくのがとても印象的でした。

コースデレクターの中村先生がコース開催前にインストラクターに向けた挨拶で「**初動の判断・行動の大切さを理解してもらえるコースにしたい**」と強調されました。コースが始まり、BLS のブース長をされた奈良広域消防組合の吉井救急救命士より「**死戦期呼吸は有用な呼吸ではない。迷ったら胸骨圧迫を開始すること。**」と解説がありました。また、「**二人以上いればチームである。チームでできること。**」を意識することからの BLS の導入でした。



【コース終了後の受講者アンケート結果】

自身にとって意義があるものでしたか？⇒全員が 5 段階評価の 5 で非常に意義があった(花まるあり)

意義があった具体的な点

- ・ 除細動器や BVM 等の使用方法など今までの疑問や不安を解決に導いてもらった (3 件)
- ・ 早期に CPR を開始することの大切さを学んだ
- ・ アルゴリズムの使用方法について理解できた

- ・異なる職場・職種での対応を見ることができ勉強になった (2件)
- ・マンツーマンで指導してもらえるのでわかりやすかった
- ・どの指導者も優しかったので質問しやすかった

多職種との講習会は有用ですか？

- ・他職種に指導されることは ⇒ 全員が有用であるの回答

実習内容はどの程度身に付きましたか？ (5段階評価 全く身につかなかった<完全に身についた)

・BLS (ポケットマスクを含む)	: 5 (2名 [救急隊])	4 (8名)	3 (1名)
・AED	: 5 (2名 [救急隊])	4 (8名)	3 (1名)
・気道確保 (BVM、挿管後の確認)	: 5 (4名)	4 (6名)	3 (1名)
・気道確保 (過換気を避ける)	: 5 (3名)	4 (7名)	3 (1名)
・除細動器の使い方	: 5 (3名)	4 (2名)	3 (6名)
・心停止の診断・4つの波形	: 5 (3名)	4 (5名)	3 (3名)
・安全・迅速な除細動	: 5 (2名 [救急隊])	4 (4名)	3 (5名)
・Mega-code(シナリオに応じた対応)	: 5 (0名)	4 (3名)	3 (8名)

全体としての今回のトレーニングコースを評価してください

- ・5段階で全員が 5 の良かった (花まるもあり)

同じような講習会は有用ですか？

- ・全員が「有用」の回答

再び受講したいですか？

- ・希望する (8名)
- ・どちらでもない (3名)
- ・希望しない (0名)

次回はインストラクターとして協力してみたいですか？

- ・協力してみたい (6名)
- ・どちらでもない (4名 [うち1名はもう一度受講したいから])
- ・協力したくない (1名)

今回、院内からは勤務経験3年目から25年目の看護師のみの受講でした。内科病棟、外科病棟、手術室、地域包括ケア病棟からの参加でした。院外の看護師2名は卒後2~4年目のICU勤務者。救急隊員2名はこれから救急救命士の資格を取るための学校に入学予定ということでした。日々の現場に則したMega-codeの評価が低いのは常に、現場を意識した振り返りが必要であること。その事を忘れないためには、コースに何らかの形で参加することが望ましいと思います。インストラクターからは「受講者のそれぞれの背景を考慮してのプレゼンテーションが必要であることを強く感じた」との声がありました。受講者はたくさん学びができたことをアンケートで知ることができましたが、インストラクターも毎回のようにたくさん学びがあるコースです。

次回は5月14日(日)に第20回の記念コースを開催します。